

教師用指導書「ワークシート集」について……………	2
--------------------------	---

1 作り方をたしかめながら読もう

とべとべ回れ……………	4
作ってあそぼう……………	6
がんばってるよ、こんなこと……………	8

2 したことのわけをそうぞうして読もう

きつねのおきやくさま……………	11
組み立てを考えよう……………	15
ことばのきまり① 文のおしまいのひょうげん……………	16

3 考えたものをはっぴようしよう

こんなものがほしいなあ……………	17
------------------	----

4 一日のながれを読もう

水ぞくかんのしいくいん……………	22
したことを生き生きと……………	26

5 場めんのようすと人ぶつのしたことを読もう

かさこじぞう……………	27
本の「おび」を作ろう……………	35
こんなあそびをしたよ……………	36

6 かんけいをたしかめながら読もう

どんぐり……………	38
ことばのいずみ① なかまのことば……………	41

7 話し合ってまとめよう

やってごらん おもしろいよ……………	42
ことばのいずみ② 二つのかん字でできたことば……………	47
何があつたのかな……………	48

8 かんそうをもって読もう

お手紙……………	52
知らせたいことをはがきに書こう……………	57

ことばをつないで文を作ろう①②③……………	58
この本で学しゅうしたかん字①②……………	62
二年生で学しゅうしたかん字①②⑤……………	84

教師用指導書「ワークシート集」について

本書は、令和二年度版「みんなと学ぶ小学校国語」の各教材の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシート集です。

教師用指導書解説編及び朱書編との関連を考慮し、各教材の授業展開に応じた実践的なワークシートを用意しています。また、教材に即したもののほかに、漢字や文字学習など、日常的な学習に対応した資料も収めています。それぞれのワークシートをあらかじめ確認していただき、授業の有効な場面で活用してください。

本書に収められた資料を十分に活用することで、児童の学習意欲や学びの定着が高まることを願っています。

□ 本書の使い方

本書は、図書としての扱いやすさを考慮して、教科書と同じB5判で作成しています。ご使用の際には、適宜B4判程度に拡大コピーしてください。

また、本書掲載のワークシートのデータを、弊社ホームページ内「小学校国語」よりダウンロードすることができます。適宜、資料をダウンロードして、必要部数をプリントアウトしてご使用ください。

□ 本書の構成

● 授業展開に合わせたワークシート

教科書の学習過程に合わせて利用できるように編集したワークシートです。

児童が主体的に学習課題に取り組めるよう、考えたことを書き込んだり、友達の発言を記録したりすることができます。単なる学習作業を行うのではなく、内容理解や自身の学習評価、次の学習への意欲付けができるよう配慮した内容になっています。

なお、学級の実態やノート指導の観点などから、本書に収められたワークシートが授業に適さない場合が生じることもあります。そういったときには、本資料を参考にして、自作するなどしてください。

● 「言葉をつないで文を作ろう」

学習指導要領では、漢字の読み書きについて、次のように記されています。

漢字の読み書きについては、書きの方が習得に時間がかかるという実態を考慮し、書きの指導は2学年間という時間をかけて、確実に書き、使えるようにすることとしている。

よって、学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う」ことを受け、教科書で設定された「言葉をつないで文を作ろう」のページをもとに作成したものです。

掲載している挿絵や漢字・熟語などを使って、普段の生活や想像したことなどを織り交ぜながら、楽しく表現することをねらっています。漢字の定着のみならず、文章の創作意欲をかき立てるのに適した資料です。

●「この本で学習した漢字」

学習指導要領の「知識及び技能」(1)エの「当該学年までに配当されている漢字を読むこと」や「当該学年までの配当されている漢字を漸次書くこと」を受けたものです。

教科書本文では、新出漢字を脚注欄や「漢字の広場」の漢字特設ページにて提示しています。また、各巻の巻末資料編「漢字のまとめ」この本で学習した漢字」にて教材ごとに示しています。これらのページをもとにして作成した資料です。

構成としては、まず、漢字に振り仮名を付けて読み、その後に漢字を書くようになっていきます。くり返し練習することにより、児童の漢字の定着が一段と進むように工夫しています。

●「〇年生で学習した漢字」

前学年で学習した漢字すべてを、学習指導要領の「学年別漢字配当表」の順に掲載しています。(一年生は当該学年の漢字を掲載)

すべての漢字を三段階で書きながら、習熟を図っています。まずは始筆や筆順に注意しながら「なぞり書き」を行い、その後、十字罫のあるマス目に沿って字形を意識しながら書きます。そして、最後は、上段のお手本を見ながら丁寧に書くといったステップで漢字の練習をすることができます。なお、本資料は、書写の硬筆指導にも活用することができます。

●「ひらがなのれんしゅう」「かたかなのれんしゅう」

一年生のみ設定している資料です。五十音順に並んだ平仮名を書く練習をします。筆順、字形を意識しながら、くり返し練習ができるようになっていきます。また、始筆から「とめ」「おれ」「はね」「まがり」「はらい」「むすび」などの点画の書き方に注意して書くことで、読みやすく丁寧に字を書くこととする態度を養うことができます。

本書に収録した情報の著作権は学校図書に帰属しています。また、収録された作品や文章の著作権は、それぞれの作者・筆者に帰属しています。学校図書発行教科書の指導に使用する目的以外での使用はできません。

1 作り方をたしかめながら読もう

名前

とべとべ回れ①

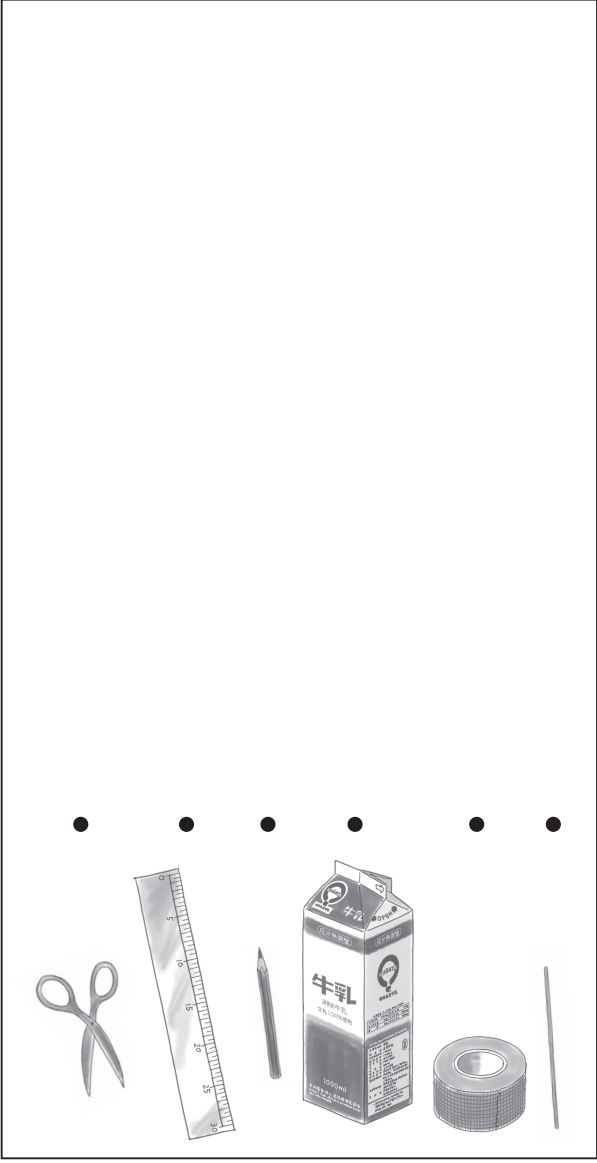
① 紙のトンぼを作ってあそぶ方ほうを三つのまとまりに分けて書きましよう。

①

②

③

② 〈用意するもの〉を^{ようい}かじよう書きでまとめ、下の絵と線でつながみましょう。



とべとべ回れ②

① 紙のトンぼの作り方には、じゅんじよをあらわすどんなことばがつかわれていますか。ぬき出して書きましょう。

② 〈用意するもの〉には、点（・）がついています。また、（竹ひごのつけ方）には、番ごうがついています。点と番ごうには、どのようなちがいがあるのか、くらべて考えを書きましょう。

③ 「紙とんぼ」を作ってあそんだかんそうを書きましょう。

名前

用意するものを書き出しま

おもちやの名前

2

②

作ってあそぼう②

□ じゅんじょが分かるように、「まず」「つぎに」「それから」「さい後に」などのことばをつかって、おもちゃの作り方をせつ明する文しよを書きましよう。

() の作り方

() は、

○用意するもの

○作り方

みんなにつたえよう

名前

がんばってるよ、こんなこと①

① 話すことを書いて、話すれんしゅうをしましょう。

がんばっていること、りゆう

見せるもの、見せ方

② れんしゅうしてみて、どうでしたか。ふりかえりを書きましょう。

がんばってるよ、こんなこと②

- ① つたえたいことをみんなに分かりやすくつたえるためには、どんな話し方をすればよいでしょうか。また、どんな聞き方をすると、友だちの話がよく分かるでしょうか。

話し方	聞き方
れい…さい後まではつきり話す	

- ② じょうずにはっぴょうしたり、ともだちのはっぴょうを聞いたりすることができましたか。きょうの学しゅうをふりかえりましょう。

--

みんなにつたえよう

名前

がんばってるよ、こんなこと③

- ① 聞く人につたわるには、どんな話し方をすればよいでしょうか。考えたことを書きましょう。

- ② 友だちの話をじょうずに聞くためにはどんなことに気をつければよいでしょうか。考えたことを書きましょう。

- ③ じょうずにはっぴょうできたり、友だちのはっぴょうを聞けたりしましたか。ふりかえりを書きましょう。

2

したことのわけをそうぞうして読もう

名前

きつねのおきやくさま②

□ つぎの時の、きつねのおもったことと、そのわけをそうぞうして書きましよう。

① ぼうつとなった。(教科書P 22)

② ぼうつとなった。(教科書P 24)

③ ぼうつとなった。(教科書P 27)

④ きつねはとび出した。(教科書P 28)

⑤ きつねは、はずかしそうにわらってしんだ。(教科書P 28)

きつねのおきやくさま③

□ つぎの時の、ひよこたちのおもったことと、そのわけをそうぞうしよう。
う。

① きつねがたたかっているのを見た時から、そのばんまで。

② 小さいおはかを作った時。

2

したことのわけをそうぞうして読もう

名前

きつねのおきやくさま ④

□ 話しかけるとう場人ぶつをえらんで、おもったことを書きましょう。

〈話しかけたいとう場人ぶつ〉

〈おもったこと〉



わたし

組み立てを考えよう

□ 組み立てに気をつけて、まとまりがよく分かる文しょうを書きましょう。

あたま（はじめ） 文しょうの書き出し。 話だいをしょうかいする部分。	
おなか（中） れいをあげて、くわしく書く部分。	
しっぽ（おわり） 文しょうのおわり。 まとめやかんそうを書く部分。	

文のおしまいのひょうげん

① つぎの文をくらべて、いみをあらわす大事なことばにせんを引きましよう。

ア このケーキは、おいしい。
このケーキは、おいしくない。



イ げんかんに、くつがあります。
げんかんに、くつがありません。



② つぎの文の（ ）に、ことばを書き入れましょう。

○日本語では、文の（ ）にその文のいみをあらわす大事なことばがきます。

○はじめは同じなのに、文の

（ ）をかえると、（ ）

のいみになることがあります。

③ つぎの文をくらべていみのちがいを考え、うごきをくわしくすることばにせんを引きましよう。

ア ゆりさんが、

本を読みはじめる。

イ ゆりさんが、

本を読んでいる。

ウ ゆりさんが、本を読みおわる。



④ つぎの文をくらべて、どのようにちがいがあるか、考えて書きましよう。

ア 電池でうごく。
イ 電池でうごきます。

⑤ つぎの文のおしまいのひょうげんをいろいろな形に書きかえましよう。

① 上手にお茶をいれる。

② 一万里を走る。

③ 時間を計る。

④ 気晴らしをする。

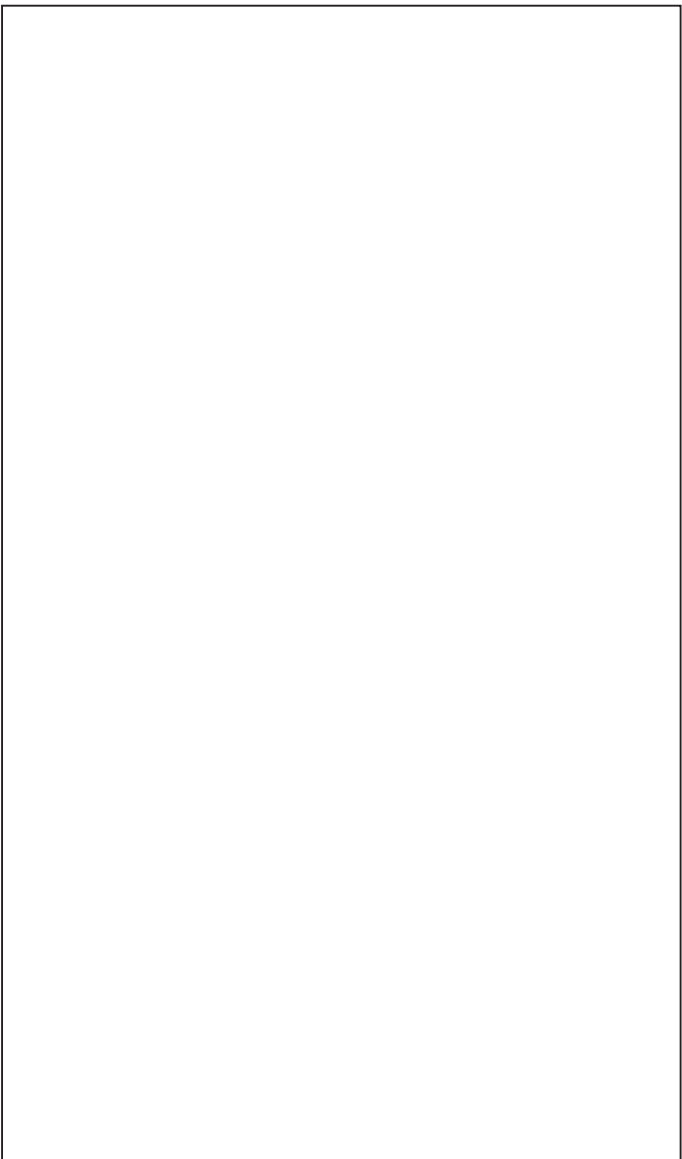
3

考えたものをはっぴょうしよう

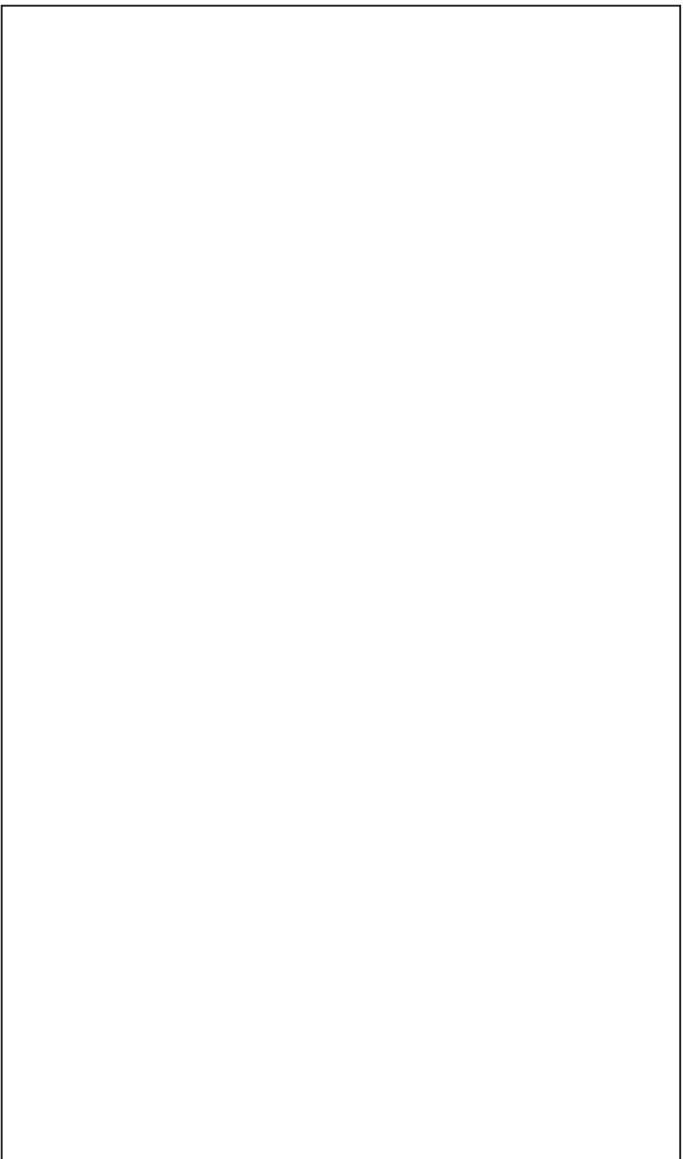
名前

こんなものがほしいなあ ①

① 生活の中で、こまっていることやにがてなことを書きましょう。



② 「こんなものがあるといいなあ」と思うものを考えましょう。



3

考えたものをはっぴょうしよう

名前

こんなものがほしいなあ②

① 「こんなものがほしいなあ」と思うものを絵にかきましょう。

ほしいものの名前

② 友だちとしかいし合って、どんなことをかんじましたか。かんそうを

書きましょう。

こんなものがほしいなあ③

教科書P 42～43を読んで、どんなことをせつ明すればよいかを考えましょう。

はなすこと

わたしが考えたのは、名づけて「さがしものミツケール」です。

この「さがしものミツケール」を考えたわけを話します。わたしはとてもおっちょこちよいで、よくものをなくします。そんなとき、「なくしたものがどこにあるのか、分かればいいな。」と思ったからです。

つかい方のせつ明をします。

まず、「さがしものミツケール」のマイクにむかって、さがしているものの名前を言います。すると、地図画めに、さがしているものがある場所ばしょが出ます。後は、その場所に行けばいいのです。

これをつかうと、さがしているものがかんたんに見つかります。また、さがしているものがかならず見つかるので、さい後までつかうことができます。

でも、つかうときに気をつけることがあります。それは、電池がなくなるとうごかなくなることと、「さがしものミツケール」のおき場所をきめておかないと、「さがしものミツケール」をなくしてしまうかもしれないことです。

これでわたしの「さがしものミツケール」のはっぴようをおわります。しつもんや、意見いけんはありますか。

2 どんなじゅんじよで話すとよいと考えましたか。きょうの学しゆうを、いりかえりましょう。

こんなものがほしいなあ ④

□ 「こんなものがほしいなあ」と思うもののはっぴょうメモを作りました。

① ほしいもの

② 考えたわけ

③ つかい方のせつ明

④ こんなにいいことがある

⑤ つかうときに気をつけること

こんなものがほしいなあ⑤

① はっぴよう会をして、見つけた友だちのよさをメモしましょう。

はっぴようした人	気づいたことやかんそう
----------	-------------

② はっぴようしたかんそうと、つぎのはっぴようで気をつけたいことを書きましょう。

水ぞくかんのしいくいん ①

① この文しようを読んで、思ったことや考えたことを書きましよう。

--

② 友だちの思ったことや考えたことを聞いて書きましよう。

--

③ しいくいんさんのしごとは、大きく二つに分けられます。それが分かる文を見つけ、二つに分けて書きましよう。

ア	
イ	

水ぞくかんのしいくいん③

- ① しいくいんさんのしごとは、毎日きまっていることだけではありません。その日だけしたこと、そのときの思いが分かる文を見つけて書き出しましょう。

その日だけしたことが分かる文	そのときの思いが分かる文

- ② しいくいんさんが、このしごをされていてよかったと思うのはなぜですか。それが分かる文を書き出しましょう。

水ぞくかんのしいくいん ④

- ① しいくいんさんの一日のしごとを知って、思ったことや考えたことを書きましょう。

- ② 友だちの思ったことや考えたことを聞いて書きましょう。

() さん

() さん

ゆたかにひょうげんしよう

名前

したことを生き生きと

1

音やようすをあらわすことばをあつめましょう。

音をあらわす ことば	
ようすを あらわす ことば	

2

音やようすをあらわすことばでひょうげんしたしを書きましょう。

だい名（

）

--

かきこじぞう①



教科書P 66の絵をお話のじゅんにならべかえて、場めんが分かれるところをさがしましょう。

絵の じゅんばん	場めんが分かれるところ

5 場めんのようすと人ぶつのしたことを読もう

名前

かきこじぞう②

□ じいさまとばあさまのくらしのようすをそうぞうしましょう。

- ① じいさまとばあさまが、どんなくらしをしているか分かるところを、教科書からいくつか書きぬきましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

- ② じいさまとばあさまのくらしを、そうぞうして書きましょう。

--

- ③ すげがさをあんでいるとき、じいさまとばあさまは、どんな気もちだったでしょう。そうぞうして書きましょう。

じいさま	
ばあさま	

かきこじぞう ③



大年の市のようすと、じいさまの気もちを読みとりましょう。

- ① 大年の市のようすがわかるところを、教科書から書きぬきましょう。

--	--	--

- ② 大年の市に行ったじいさまのようすを、教科書から書きぬきましょう。

--	--	--	--

- ③ 「じいさまは、帰りました。」と「しかたなく、じいさまは、帰ることにしました。」とでは、どちらがうでしうか。くらべて考えを書きましょう。

じいさまは、 帰りました。	
しかたなく、じ いさまは、帰る ことにしまし た。	

5 場めんのようすと人ぶつのしたことを読もう

名前

かきこじぞう ④

□ 野っ原に立つじぞうさまのようすと、じいさまの行どうを読みとりましよう。

① 「とんぼりとんぼり」歩くようすから、じいさまが心の中でどんなことを考えているか、そうぞうして書きましよう。

--	--	--

② じぞうさまは、どんなところに、どんなようすで立っていましたか。教科書から書きぬきましょう。

--	--	--

③ じいさまが、じぞうさまにしたことを書きましよう。

--	--	--

④ 「そこで、やっとあん心して、うちに帰りました。」という時の、じいさまの気もちをそうぞうして書きましよう。

--	--	--

かきこじぞう ⑤

□ もちつきのまねごとをする、じいさまとばあさまのようすを読みとりましょう。

① じいさまが帰ってきたときのばあさまのことを書きぬきましょう。

じいさま	「ばあさま、ばあさま、今帰った。」
ばあさま	

② いやな顔ひとつしないで言ったらばあさまは、どんな気もちだったでしょう。ばあさまの気もちをそうぞうして書きましょう。

ばあさま のことば	「おう、それはええことをしなすった。じぞうさまも、この雪じゃ、さぞつめたかろうもん。さあさあ、じいさま、いろいろに来て、あたってくだされ。」
ばあさま の気もち	

③ じいさまとばあさまが、もちつきのまねごとをするようすを読んで、思ったことやかんじたことを書きましょう。

5 場めんのようすと人ぶつのしたことを読もう

名前

かきこじぞう ⑥

□ おくりものとどけるじぞうさまのようすや、じいさまとばあさまのようすを読みとりましょう。

① ま夜中に、どんなことがあったのか書きましょう。

② 「じさま」と「ばさま」の前にどんなことばが入るか、考えて書きましょう。

「じさま」のうちは
どこだ。

「ばさま」のうちは
どこだ。

③ 空ぞりを引いて帰っていくじぞうさまを見たじいさまとばあさまは、どんなことを考えたでしょう。そうぞうして書きましょう。

かきこじぞう ⑦

名前

11

①

だれから（さし出し人）	だれへ（出すあい手）
-------------	------------

②

③

()

()より

かきこじぞう ⑧

□ 「かきこじぞう」の、つづき話を書いてみましょう。

のき下には、米のもち、あわのもちのたわらがおいてありました。
そのほかにも、みそだる、にんじん、ごんぼやだいこんのかます、お
かざりのまつなどがありません。

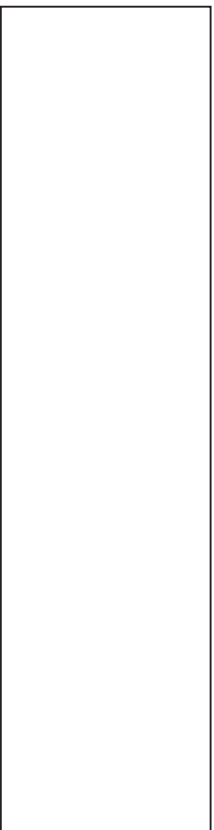
じいさまとばあさまは、よいお正月をむかえることができましたと。

① みじかい文しように書いてみましょう。

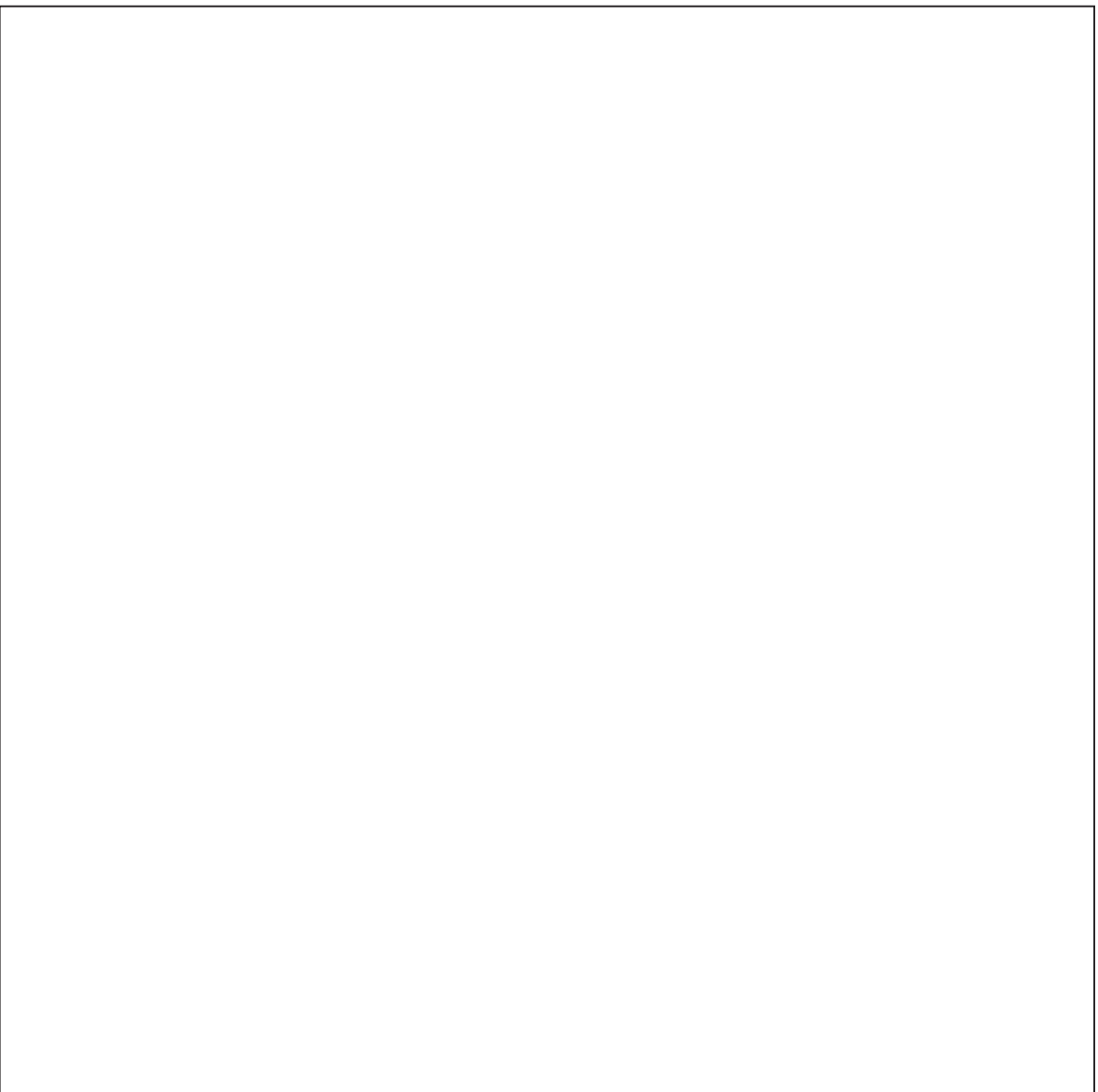
② 少し長い文しように書いてみましょう。

本の「おび」を作ろう

① 「おび」をつくる本をきめましょう。



② えらんだ本のしよかい文を書きましょう。



みんなにつたえよう

名前

こんなあそびをしたよ①

①

冬休みにしたあそびについてのスピーチのじゅんびをしましょう。

したあそび	
どんなことをしたか	
かんそう	

②

どんなことに気をつけると、上手なスピーチになりそうですか。今日のふりかえりを書きましょう。

こんなあそびをしたよ②

- ① 冬休みにしたあそびのはっぴよう会をしましょう。話した人のよかったところを書きましょう。

話した人	よかったところ

- ② 話すときや聞くときに、どんなことに気をつけましたか。それぞれふりかえりましょう。

話すとき	聞くとき

6

かんけいをたしかめながら読もう

名前

どんぐり ①

① 「どんぐり」を読んで、思ったことや考えたことを書きましょう。

② 「どんぐり」は、どんなことをせつ明した文でしょうでしょうか。

③ といの文を見つけて書きましょう。

④ 秋におちたどんぐりは、その後どうなりましたか。

どんぐり②



秋におちたどんぐりは、その後どうなりましたか。つぎのひょうに書き入れましょう。

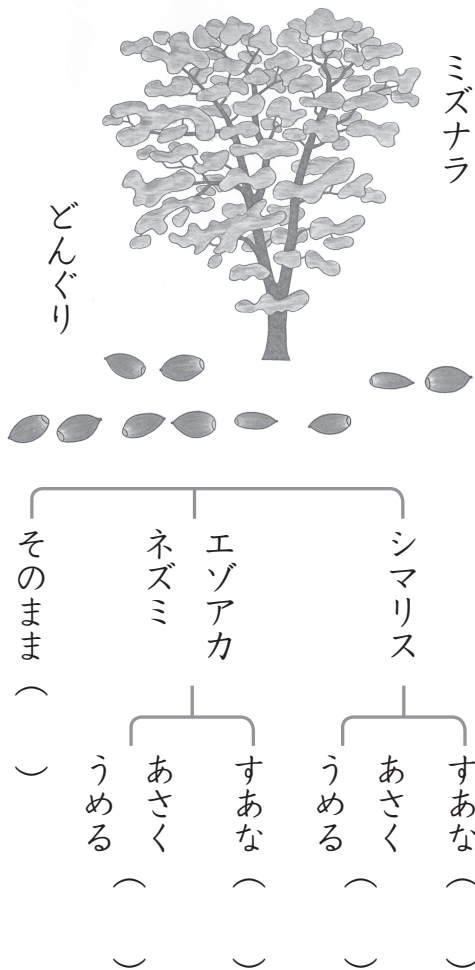
どんぐりの ある場所 ばしょ	どうして そこにあるのか	春に どうなったか	どうして そうなったか

6 かんけいをたしかめながら読もう

名前

どんぐり③

① つぎの図の（ ）に、春にどんぐりのめが出るものには○を、出ないものには×を書きましょう。



② ①の図をつかって、ミズナラ・どんぐり・シマリリス・エゾアカネズミには、どんなかんけいがあるか、せつ明しましょう。

③ 「どんぐり」の学しゆうをふりかえて、学んだことやかんそうを書きましよう。

なかまのことは

① 日や時間のよび方を () に

書きましょう。

③ 方角を □ に、方こう (むき) を、

□ と ○ に書きましょう。

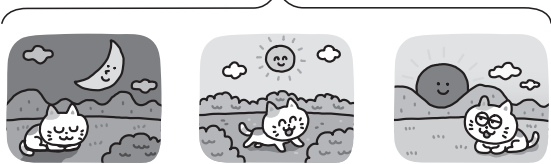
()

きのう

今日 ()

あした

()



夜

昼

朝

② 家ぞくのよび方を ()

書きましょう。

() に書



()

④ 教科のよび方を () に

書きましょう。

(お父さん^{とう})



(お母さん^{かあ})



自分

(お姉さん^{ねえ})



(お兄さん^{にい})



7 話し合ってまとめよう

名前

やってごらん おもしろいよ①

① 毎日、どんなあそびをしているか、書きましょう。

--

② 一年生もいっしょにたのしめるよう、どんなことに気をつけて話し合
いをしていますか。

一年生がたのしめるように 気をつけていること	話し合いのしかた

③ 一年生に教えてあげたいあそびをきめましょう。

--

④ 友だちの話し方や聞き方のよいところを書きましょう。

--

やっでごらん おもしろいよ②

- ① 一年生もいっしょにたのしめるように、どんなじゅんぴをすればよいか、話し合いました。

どんなじゅんぴをするか	あそび方

- ② 一年生にあそび方を分かりやすくせつ明するために大じなことはなんですか。

れい…大きな紙にあそび方を書く

やってごらん おもしろいよ③

①

一年生にせつ明するために、あそび方をせいりしましょう。

あそび
じゅんばん

やり方（せつ明すること）

②

話し合いは上手にできましたか。自分が上手にできたと思うことを書きましょう。

やってごらん おもしろいよ④

□ 一年生に「あそび大会」のことをつたえるために、お知らせメモを作りましょう。

・はじめのことは

・いつ

・どこで

・すること

・おわりのことは

7 話し合ってまとめよう

名前

やっでごらん おもしろいよ⑤

- ① 一年生へのせつ明は上手にできましたか。うまくできたことやつぎにがんばりたいことを書きましょう。

- ② 友だちのせつ明のしかたはどうでしたか。がんばっていたところやよかったところなどを書きましょう。

二つのかん字でできたことば

① つぎのことばのいみを考えましょう。

- ① 休日 ↓ () の ()
② 食後 ↓ () の ()

② つぎのことばのいみを考えましょう。

- ① 古紙 ↓ ()
② 白馬 ↓ ()
③ 大木 ↓ ()

③ つぎの、はんたいのいみのかん字二字を組み合わせて、ことばを作りました。

- ① 内・外 ()
② 前・後ろ ()
③ 多い・少ない ()
④ 遠い・近い ()

④ つぎの、にたいみのかん字二字を組み合わせて、ことばを作りました。

- ① 会と合 ()
② 語と言 ()
③ 絵と画 ()

—— そうぞうを広げよう

名前

何があつたのかな ①

教科書P 96の①の絵を、まねしてかいてみましょう。

② ①の絵を見て、つぎの①から③を考えて書きましょう。

① だれが出てきますか。

② 何をしていますか。

③ まわりはどんなようですか。

何があつたのかな ②

教科書P 96の②の絵を、まねしてかいてみましょう。

② ①の絵を見て、つぎの①から③を考えて書きましょう。

① だれが出てきますか。

② 何をしていますか。

③ まわりはどんなようですか。

——そうぞうを広げよう

名前

何があつたのかな③

① 教科書P 96の①と②の絵には、どんなちがいがありますか。気づいたことやそうぞうしたことを書きましょう。

② 教科書P 96の③では、どんなことがあつたでしょう。そうぞうしたことを書きましょう。

何があつたのかな ④

□ 絵からお話を作りましょう。

 さいしよの 一文を考えて 書きましょ う。	できごとや ようすを書き ましよう。	 お話をしめ くくりましょ う。

・お話のだい名〔

〕

お手紙①

□ つぎのことを言った人ぶつを「がまくん」「かえるくん」「かたつむりくん」からえらんで書き入れましょう。

言った人ぶつ	言ったことば
	「どうしたんだい、がまがえるくん。きみ、かなしそうだね」
	「うん、そうなんだ。」
	「今、一日のうちのかなしい時なんだ。つまり、お手紙をまつ時間なんだ。そうになると、いつもぼく、とてもふしあわせな気もちになるんだよ。」
	「そりやどういうわけ？」
	「だって、ぼく、お手紙もらったことがないんだもの。」
	「いちどもかい？」
	「ああ。いちども。」
	「だれもぼくにお手紙なんかくれたことがないんだ。毎日、ぼくのゆうびんうけは空っぽさ。お手紙をまつている時がかなしいのは、そのためなのさ。」
	「ぼく、もう家へ帰らなくっちゃ、がまくん。しなくちゃいけないことがあるんだ。」
	「かたつむりくん。」
	「おねがいでけど、このお手紙をがまくんの家へもっていつて、ゆうびんうけに入れてきてくれないかい。」
	「まかせてくれよ。」
	「すぐやるぜ。」
	「がまくん。」
	「きみ、おきてさ、お手紙が来るのをもうちょっとまつてみたらいいと思うな。」
	「いやだよ。」
	「ぼく、もうまつているの、あきあきしたよ。」

お手紙②

Ⅰ つぎのことを言った人ぶつを「がまくん」「かえるくん」「かたつむりくん」からえらんで書き入れましょう。

言った人ぶつ	言ったことば
	「がまくん。」
	「ひよつとして、だれかがきみにお手紙をくれるかもしれないだろう。」
	「そんなことあるものかい。」
	「ぼくにお手紙をくれる人なんて、いるとは思えないよ。」
	「でもね、がまくん。」
	「今日は、だれかがきみにお手紙をくれるかもしれないよ。」
	「ばからしいこと言うなよ。」
	「今まで、だれもお手紙くれなかったんだぜ。今日だって、同じだろうよ。」
	「かえるくん、どうしてきみ、ずっとまどの外を見ているの。」
	「だって、今、ぼく、お手紙をまっているんだもの。」
	「でも来やしないよ。」
	「きっと来るよ。」
	「だって、ぼくがきみにお手紙を出したんだもの。」
	「きみが？」
	「お手紙になんて書いたの？」
	「ぼくはこう書いたんだ。『親あいなるがまがえるくん。ぼくは、きみがぼくの親友であることをうれしく思っています。きみの親友、かえる。』」
	「ああ、」
	「とてもいいお手紙だ。」

Ⅱ どう場人ぶつがしたことをはつきりさせることができましたか。かんそうを書きましよう。

お手紙③

□

つぎの場めんについて、二人が思ったことをそうぞうして書きましょう。

- ① かえるくんは、大いそぎで家へ帰りました。(教科書P 105)

- ② 「そんなことあるものかい。」(教科書P 107)

- ③ 「ああ、」

がまくんが言いました。

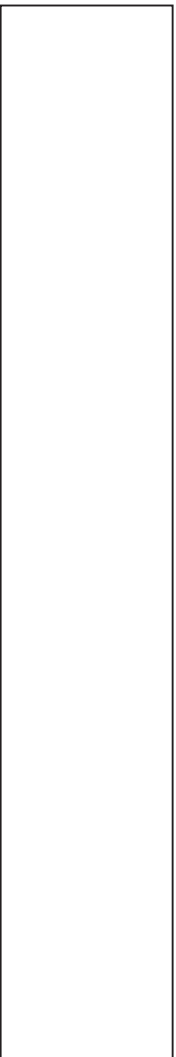
「とてもいいお手紙だ。」(教科書P 110)

お手紙 ④

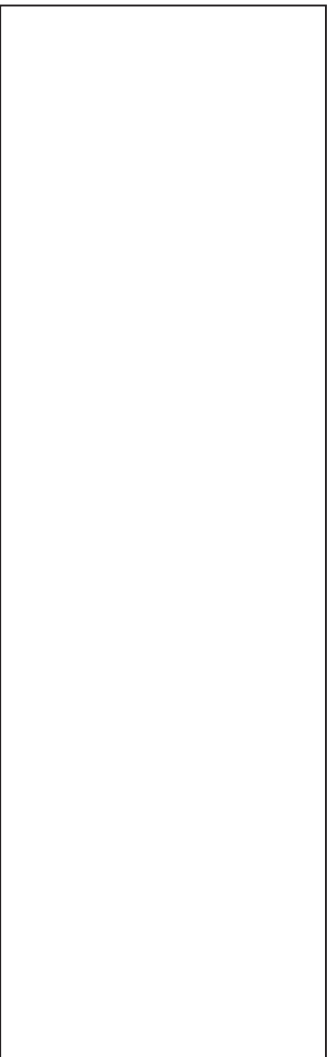
□ 教科書P 112のアとイの絵の場めんに合う文を見つけて書きましょう。また、

二人のようすもそうぞうして書きましょう。

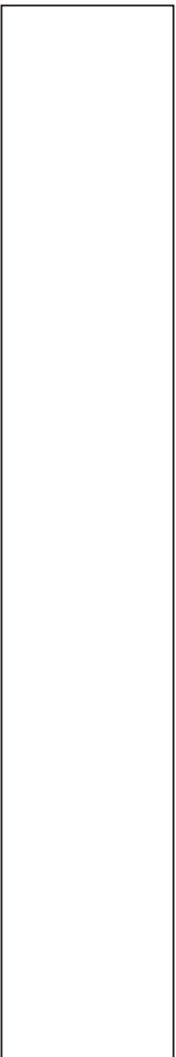
ア ・場めんに合う文



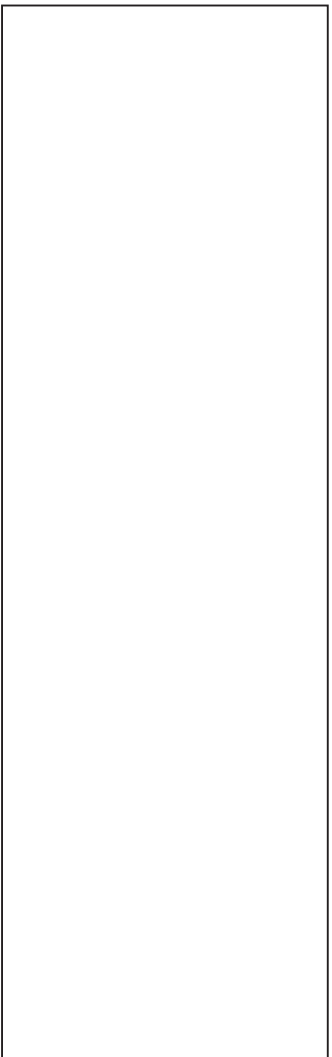
・二人のようす



イ ・場めんに合う文



・二人のようす



お手紙⑤

□ 教科書P112のアとイの絵の場めんをくらべて、二人がどうかわったかを書

きましよう。

知らせたいことをはがきに書こう

1 はがきをおくりたいあい手と、知らせたいことを考えて書きましょう。

だれに		どんなことを	
(	)に	ハ	〳こと
(	)に	ハ	〳こと
(	)に	ハ	〳こと

2 はがきの下書きをしましょう。

ことばをつないで文を作ろう

名前

一年生でならったかん字①

○教科書のれいのように、つぎのかん字をたくさんつかって、文や文しよを作りましょう。

☐ 犬 ☐ 二ひき ☐ 八こ ☐ 六さつ ☐ 十本 ☐ 千円 ☐ 五十円 ☐ 百円 ☐ 七まい ☐ 一足 ☐ 三台 ☐ 四人 ☐ 九わ

.....

.....

.....

.....

.....

.....



一年生でならったかん字②

○教科書のれいのように、つぎのかん字をたくさんつかって、文や文しよを作りました。

- ☐ 早おき
- ☐ 見る
- ☐ 日の出
- ☐ 音
- ☐ お年玉
- ☐ お正月
- ☐ 竹馬
- ☐ 王さま
- ☐ 口
- ☐ 目
- ☐ 耳
- ☐ 文字

.....

.....

.....

.....

.....

.....



ことばをつないで文を作ろう

名前

一年生でならったかん字③

○教科書のれいのように、つぎのかん字をたくさんつかって、文や文しよを作りましょう。

- ☐ まん 中
☐ 左右
☐ 先生
☐ 休み時間
☐ 小学校
☐ 名前
☐ 糸電話
☐ 夕立
☐ 雨やどり
☐ 女の子
☐ 男の子

.....

.....

.....

.....

.....

.....



この本で学しゅうしたかん字①

○ 新しいかん字を読みましょう。

とべとべ回れ

① 新聞紙をおって、三角のぼうしを作りました。
() () ()

② 角のポストに手紙を入れました。
() () ()

③ その牛は、大きな角をもっています。
() () ()

④ 毎日、牛にゆうをのんでいます。
() () ()

⑤ 下の図に、じゅんに番ごうをふってください。
() () ()

⑥ 図書かんの前の道を広げるこうじをしています。
() () ()

⑦ 広大な土地をはいはつするけいかくがあります。
() () ()

この本で学しゅうしたかん字①

○ 新しいかん字を書きましょう。

とべとべ回れ

①

新聞

をおつて、三

のぼうしを作りました。

②

のポストに手

を入れました。

③

その

は、大きな

をもっています。

④

毎日、

にゆうをのんでいます。

⑤

下の

に、じゆんに

ごうをふってください。

⑥

と

書かんの前の道を

げるこうじをしています。

⑦

大な土地をかいはずするけいかくがあります。

この本で学しゅうしたかん字②

- 新しいかん字を読みましょう。

作ってあそぼう

- ① レストランで知人とばったり会いました。
()
- ② わたしの名前を知っていますか。
()

がんばってるよ、こんなこと

- ③ 二年一組の友だちと、プラモデルを組み立てました。
()
- ④ サッカーチームの組しきを新しくします。
()
- ⑤ 算数のノートに直線を引きました。
()
- ⑥ 科学の本に、引力のことがくわしく書かれています。
()

この本で学しゅうしたかん字②

○ 新しいかん字を書きましょう。

作ってあそぼう

① レストランで ち
人とばったり会いました。

② わたしの名前を し
っていますか。

がんばってるよ、こんなこと

③ 二年一 くみ
の友だちと、プラモデルを く
み立てました。

④ サッカーチームの そ
しきを新しくします。

⑤ さん
数のノートに直線を ひ
きました。

⑥ か
学の本に、 いん
力のことがくわしく書かれています。

この本で学しゅうしたかん字③

○ 新しいかん字を読みましょう。

きつねのおきやくさま

① 春分の日は、春らしいあたたかな一日でした。

② うんどう会で、校歌を大きな声で歌いました。

③ 百人一首のかかるた大会では、読み手が歌を読みます。

④ 夏休みに手首をいためてしまいました。

⑤ 五、六月ごろをしょ夏といいます。

組み立てを考えよう

⑥ 夜になると、多くの虫があつまってきます。

⑦ 車のじこで、多数のけが人が出ました。

この本で学しゅうしたかん字③

○ 新しいかん字を書きましょう。

きつねのおきやくさま

① しゅん 分の日は、 はる らしいあたたかな一日でした。

② うんどう会で、校 か を大きな声で うた いました。

③ 百人一 しゅ のかるた大会では、読み手が うた を読みます。

④ なつ 休みに手 くび をいためてしまいました。

⑤ 五、六月ごろをしよ か といいます。

組み立てを考えよう

⑥ 夜になると、 おお くの虫があつまってきます。

⑦ 車のじこで、 た 数のけが人が出ました。

この本で学しゅうしたかん字④

○ 新しいかん字を読みましょう。

文のおしまいのひょうげん

- ① かん電池でうごくおもちゃを作りました。
() () () ()
- ② 池のまわりを走る時間を計りました。
() () () ()
- ③ かけ算の計算がはやくなりました。
() () () ()
- ④ 里いもを食べて、お茶をのみました。
() () () ()
- ⑤ 一里は、およそ三九〇〇メートルです。
() () () ()
- ⑥ 晴天のもと、マラソン大会に一万人がさんかしました。
() () () ()
- ⑦ 力走するマラソンのせん手をおうえんしました。
() () () ()
- ⑧ あしたもよく晴れるでしょう。
() () () ()

この本で学しゅうしたかん字④

○ 新しいかん字を書きましょう。

文のおしまいのひょうげん

① かん

	てん
	ち

でうごくおもちゃを作りました。

②

	いけ
--	----

のまわりを

	はし
--	----

る時間を

	はか
--	----

りました。

③

かけ算の

	けい
--	----

算がはくなりました。

④

	さこ
--	----

いもを食べて、お

	ちや
--	----

をのみました。

⑤

一	り
---	---

は、およそ三九〇メートルです。

⑥

	せい
--	----

天のもと、マラソン大会に一

	まん
--	----

人がさんかしました。

⑦

カ	そつ
---	----

するマラソンのせん手をおうえんしました。

⑧

あしたもよく	は
--------	---

れるでしょう。

この本で学しゅうしたかん字⑤

○ 新しいかん字を読みましょう。

こんなものがほしいなあ

① 元気で学校生活をおくりましょう。

② 五月の遠足を楽しみにしています。

③ 音楽の時間に、リコーダーのれんしゅうをしました。

④ もっと気楽に話してください。

⑤ 一年生のころを思い出します。

⑥ 思考力をのばすことが大切です。

この本で学しゅうしたかん字⑤

○ 新しいかん字を書きましょう。

こんなものがほしいなあ

① 元気で学校生 をおくりましょう。

② 五月の遠足を しみにしています。

③ 音 の時間に、リコーダーのれんしゅうをしました。

④ もっと気 に話してください。

⑤ 一年生のころを い出します。

⑥ 考力をのばすことが大切です。

この本で学しゅうしたかん字⑥

- 新しいかん字を読みましょう。

水ぞくかんのしいくいん

- ① 学校まで近いので、歩いて通っています。
 () () ()
- ② この魚は、日本の近海でとれました。
 () () ()
- ③ 海でおよいだ後、顔がひりひりしました。
 () () ()
- ④ ころんで顔めんを強くうってしまいました。
 () () ()
- ⑤ おにいさんは、電車で通学しています。
 () () ()
- ⑥ 車がたくさん通るので、気をつけて歩きましょう。
 () () ()
- ⑦ お昼休みに図書室で本を読みました。
 () () ()
- ⑧ 昼食にサンドイッチを作って食べました。
 () () ()

この本で学しゅうしたかん字⑥

○ 新しいかん字を書きましょう。

水ぞくかんのしいくいん

①

学校まで

ちか

いので、歩いて

かよ

つています。

②

この魚は、日本の

きん

かい

でとれました。

③

うみ

でおよいだ後、

かお

がひりひりしました。

④

ころんで

がん

めんを強くうってしまいました。

⑤

おにいさんは、電車で

つう

学しています。

⑥

車がたくさん

とお

るので、気をつけて歩きましょう。

⑦

お

ひる

休みに図書

しつ

で本を読みました。

⑧

ちゅう

食にサンドイッチを作って食べました。

この本で学しゅうしたかん字⑦

○ 新しいかん字を読みましょう。

かさこじぞう

- ① おじさんは、土地を売買するしごとをしています。 ()
- ② その店では、新米をたくさん売っていました。 ()
- ③ 店長さんは、魚を買いに市場に行っています。 ()
- ④ 市長さんのえんぜつ会は中止となりました。 ()
- ⑤ 雪のつもった野原を犬がかけ回っています。 ()
- ⑥ 野外キャンプ場でお米をたきました。 ()
- ⑦ このおしばいの原作を読みました。 ()
- ⑧ アメリカのことを米国ともいいます。 ()
- ⑨ 風雪が強まると、電車が止まるかもしれません。 ()

この本で学しゅうしたかん字⑦

○ 新しいかん字を書きましょう。

かさこじぞう

①

おじさんは、土地を

ばい ばい

するしごとをしています。

②

その

みせ

では、新

まい

をたくさん

う

っていました。

③

てん

長さんは、魚を

か

いに

いち

場に行っています。

④

し

長さんのえんぜつ会は中

し

となりました。

⑤

ゆき

のつもった

の

はら

を犬がかけ回っています。

⑥

や

外キャンプ場でお

こめ

をたきました。

⑦

このおしばいの

げん

作を読みました。

⑧

アメリカのことを

べい

国ともいいます。

⑨

風

せつ

が強まると、電車が

と

まるかもしれません。

この本で学しゅうしたかん字⑧

○ 新しいかん字を読みましょう。

かん字の広場

① 麦^{（ ）}わらぼうしをかぶって、公^{（ ）}園^{（ ）}に行きました。

② いなかのおじさんが上^{（ ）}京^{（ ）}してきました。

③ おかあさんは、新^{（ ）}聞^{（ ）}社^{（ ）}ではたらいています。

④ 村のはずれに、古^{（ ）}い社^{（ ）}があります。

⑤ 金かく寺^{（ ）}というお寺^{（ ）}へ行きました。

こんなあそびをしたよ

⑥ さむい冬^{（ ）}の間、くまは冬^{（ ）}みんしてうごかなくなります。

この本で学しゅうしたかん字⑧

○ 新しいかん字を書きましょう。

かん字の広場

① むぎ わらぼうしをかぶって、
 こう えん に行きました。

② いなかのおじさんが上 きょう してきました。

③ おかあさんは、新聞 しゃ ではたらいています。

④ 村のはずれに、古い やしろ があります。

⑤ 金かく じ というお てら へ行きました。

こんなあそびをしたよ

⑥ さむい ふゆ の間、くまは とう みんなしてうごかなくなります。

この本で学しゅうしたかん字⑨

○ 新しいかん字を読みましょう。

どんぐり

① あたたくくなり、さくら前線も北上中です。

② つめたい北風がふいています。

③ 秋分の日に、みんなでおはぎを食べました。

④ あなたは、秋の七草を知っていますか。

⑤ 親切な人に道を教えてもらいました。

⑥ 池であひる親子がおよいでいました。

⑦ もっと読書に親しみましょう。

この本で学しゅうしたかん字⑨

○ 新しいかん字を書きましょう。

どんぐり

① あたたくなり、さくら前線も 上中です。

ほく

② つめたい 風がふいています。

きた

③ 分の日に、みんなでおはぎを食べました。

しゅう

④ あなたは、 の七草を知っていますか。

あき

⑤ 切な人に道を教えてもらいました。

しん

⑥ 池であひる 子がおよいでいました。

おや

⑦ もっと読書に しみましょう。

した

この本で学しゅうしたかん字⑩

○ 新しいかん字を読みましょう。

なかまのことは

① 姉あねといっしょに、妹いもうとのために朝食あさめしを作りました。

② 東あづまの空から朝日あさひがのぼるころ、兄あには出かけました。

③ 午前中あさひる、弟あにをつれて工作教室くわくしやうに行きました。

④ 父ちちの知り合いの大工だいこうさんに会いました。

⑤ 母ははは、学校がっこうの父母はふの会かいに行っています。

⑥ 西にしの村むらに力もちちからもちの三人兄弟さんにんけいがすんでいました。

⑦ じしゃくをつかって、東西南北とうしゅうなんぺいをしらべました。

⑧ 南みなみの風かぜは、しだいに北西きたせいの風かぜへとかわるでしょう。

この本で学しゅうしたかん字⑩

○ 新しいかん字を書きましょう。

なかまのことは

① あね といっしよに、 いもうと のために ちよう 食を作りました。

② ひがし の空から あさ 日がのぼるころ、 あに は出かけました。

③ こ 前中、 おとうと をつれて こう 作教室に行きました。

④ ちち の知り合いの大 く さんに会いました。

⑤ はは は、学校の ふ ぼ の会に行っています。

⑥ にし の村に力もちの三人 きよう だい がすんでいました。

⑦ じしやくをつかつて、 とう ざい なん 北をしらべました。

⑧ みなみ の風は、しだいに北 せい の風へとかわるでしょう。

この本で学しゅうしたかん字⑪

○ 新しいかん字を読みましょう。

二つのかん字でできたことは

- ① 高|原の朝は、小鳥の声で目をさまします。
()
- ② 高|い山で、めずらしい岩|石を見つけました。
()
- ③ 大|きな岩|が行く手をふさいでいました。
()
- ④ 音の強|弱|にちゅういしてください。
()
- ⑤ 弟は、思いのほか気が弱|いようです。
()

この本で学しゅうしたかん字⑪

○ 新しいかん字を書きましょう。

二つのかん字でできたことば

①

こ
う

原の朝は、小鳥の声で目をさまします。

②

た
か

い山で、めずらしい

が
ん

石を見つけました。

③

大きな

い
わ

が行く手をふさいでいました。

④

音の強

じ
ゃ
く

にちゅういしてください。

⑤

弟は、思いのほか気が

よ
わ

いようです。

二年生で学しゅうしたかん字②

○ かん字のれんしゅうをしましょう。

自	思	市	作	今	谷	高	光	公	後	戸	元
時	紙	矢	算	才	国	黄	考	広	語	古	言
室	寺	姉	止	細	黒	合	行	交	工	午	原

○ かん字のれんしゅうをしましょう。

昼池体走線切声凶心場春首

二年生で学しゅうしたかん字④

○ かん字のれんしゅうをしましょう。

母	聞	父	麦	馬	内	同	東	刀	店	直	長
方	米	風	半	売	南	道	答	冬	点	通	鳥
北	歩	分	番	買	肉	読	頭	当	電	弟	朝

二年生で学しゅうしたかん字⑤

○ かん字のれんしゅうをしましょう。

毎 明 門 友 来 話

妹 鳴 夜 用 里

万 毛 野 曜 理